

平成26年7月31日
(資料提供)

(事務担当)
所属名：農林総合研究センター
農業試験場 総合研究部
病害虫防除室
直通：257-6972

平成26年度病害虫発生予報第5号について

今後発生が予想される、水稻、大豆、果樹、野菜、花きの病害虫の、発生時期や発生量、防除上の注意事項などを掲載する。

1 予報期間 8月上旬～8月下旬

2 予報内容

(1) 水稻

斑点米カメムシ類の水田への侵入量は多と予想される。出穂7～10日後と14～17日後の2回防除を徹底する。高温乾燥時には水田への侵入が促進される。

穂いもちの発生はやや多と予想される。出穂前後に降雨があると発生が拡大するので、この時期の防除は必ず実施する。

(2) 果樹

ナシ黒斑病の発生はやや多と予想される。ポリオキシンおよびジカルボキシイミド剤は耐性菌が県内に広く分布しているため、散布回数をそれぞれ年1回にとどめる。

(3) 野菜・花き

オオタバコガの発生はやや多と予想される。若齢期の幼虫の防除を徹底する。

※病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。